

ふれあい情報

2019年10月24日(木) 第306号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 野田那智子
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台3-2-

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

連合第16回定期大会開催 「私たちが未来を変える～安心社会に向けて～」

連合は10月10～11日、「私たちが未来を変える～安心社会に向けて～」をスローガンに「第16回定期大会」を東京新宿文化センターで開催しました。連合結成30周

年の節目となる大会に、連合役員、代議員をはじめ、加藤厚生労働大臣、各党代表、海外から40組織55名が参加、傍聴も含めて1,300名が参加しました。大会には退職者連合から人見一夫会長、野田那智子事務局長



冒頭、神津会長は「貧困に歯止めをかけることができるのは私たちだけです。富を生み出し、それを分かちあうことができ、安心社会の構築につなげていくことができる労働組合、労使関係という機能に他ならない。あらためて声を大にして叫んでおきたい。労働組合こそが世界を救うのです。私たちはその先頭にたたなければなりません」と決意を述べました。

また、「1989年11月21日、

が来賓として参加しました。

大会終了後、「連合結成30周年躍進レセプション」が東京・帝国ホテルで開催されました。

台風19号が接近しているのまっすぐの道を一步一歩進んでき、中、大会出席者や海外来賓、団。混迷する日本においてこのこと、代議員、連合役員退職者などの持つ意義は限りなく大きい。私たちが950名が参加しました。ちを取り巻く環境は、これからも大

神津会長は「連合結成に至るまで変化していく。そのような中で、道筋の中で、そして結成後大会スローガンである『私たちが未来も多くの先達の苦勞に感謝を込めて、安心社会に向けて』をしたいと思います。連合がめざす社会を心に、果敢に挑戦していこう」と像の実現に向け、新しい運動呼びかけました。

結成された。そして私たちは真ん中



大会2日目に役員改選が行われ、

神津会長、逢見会長代行、

川本会長代行、相

神奈川シニア連合

「第13回男女平等推進委員会・学習会」を開催

10月8日、神奈川シニア連合が「第13回男女平等推進委員会と学習会」を開催しました。「ステップアップ男女平等参画推進」をテーマに野田事務局長が講演を行いました。参加者は54名(女性23名、男性31名)でした。



野田事務局長は、「世界的に見て、日本は男性と女性との間に様々な格差がある。OECDが実施した世界ジェンダーギャップ指数は149カ国中110位という下位グループに入る。いつの世代でも男性優位の社会、人生100年時代、今からでも遅くない。まずはその意識改革から始

めよう」と呼びかけました。意見交換会では、「男は平等という目標

に向かつて、男女が共同で役割分担して行く、男性も女性と一緒に物事を進めて行く、男性も女性も一緒に物事を進めて行く、それが男女平等参画ではないか」「現在77歳、掃除や洗濯をしなければならぬ。家事の共同参画。今までやってこなかった男性にとっては難題だ」という本音を交えての発言が続きました。

神奈川シニア連合男女平等参画委員会では、アンケート調査や学習会など活動が続いています。

近畿ブロック

「五国・兵庫」in 播磨の国 ハイキングに1400人

10月16日、「五国・兵庫」播磨の国のシンボル、世界文化遺産の白鷺城のもとで、近畿ブロックハイキングが開催されました。

まさにハイキング日和、青空の下に2府4県から1400人の仲間が参加して行われました。近畿ブロックのハイキングは、1997年以来23回目は、1997年以來23回目は、250人からはじまり、今やこれだけの規模に。この日の参加者の最高齢は94歳。出発式で、ブロック会長の林晃大阪退連会長は「安倍政権は相変わらず、傲慢。野党の踏ん張りに期待したい。この集まりは、近畿高齢者集会そのもの。社会保障問題など、連合・退連に集う仲間が、現退一致で『心あわせ』『力あわせ』を強化し、団結してがんばろう」と挨拶



挨拶する林晃ブロック会長



2019年度男女平等参画推進委員会学習会のご案内

「社会保障とジェンダー」(仮)

講師 上野千鶴子さん(東京大学名誉教授・認定NPO法人「ウィメンズアクションネットワーク(WAN)」理事長)
日時 2020年3月6日(金) 13:30~17:00 (終了後、女性参加者による食事懇談会を企画しています)
会場 連合会館3階 A・B会議室

今年の東京大学入学式で上野千鶴子さんのスピーチが大きな話題を呼びました。冒頭で去年発覚した東京医科大の医学部入学式での女子差別問題に言及し、「学内にも社会にも性差別が横行しています」と発言。

日本における女性学・ジェンダー研究の第一人者としてベストセラー「おひとりさまの老後」をはじめ「家父長制と資本主義」「女ざらい」など話題作多数。

「女たちはルールを無視して横紙破りをやるほかに、自分の言い分を通すことができなかつた —上野千鶴子「働く女たちが失ってきたもの」より